

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年7月5日

群馬県知事 あて



提出者 ㊦179-0081
住 所 東京都練馬区北町1丁目8番8号

氏 名 株式会社エクシオテック
情報通信事業本部
社会インフラ本部
本部長 小林 克巳
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-5922-2004

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社エクシオテック (太田工事現場は令和6年3月末に工事完了にて閉鎖)
事業場の所在地	群馬県太田市今泉町665番地先～吉沢町1384-1番地先 (太田工事現場は令和6年3月末に工事完了にて閉鎖)
計画期間	2024年度は廃棄物処理計画なし
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：特定建設業 中分類：土木工事業または電気通信工事業
②事業の規模	287億円
③従業員数	827名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

情報通信事業本部 社会インフラ本部 エンジニアリング部長(廃棄物処理統括責任者)

現場代理人(廃棄物処理管理担当)

現場管理責任者(廃棄物処理管理責任者)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・施工範囲や施工方法を確認し、廃棄物削減出来ないかを考慮する。		
②計画	【目標】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類	t	
	排出量		t
	(今後実施する予定の取組) ・今年度の産業廃棄物処理計画はなし		

産業

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

現状 令和5年度 実績

別紙

	アスコンがら	汚泥	コンクリートがら	木屑	廃プラ
実績排出量	2215.50 t	24.43 t	109 t	28.5 t	0 t
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t
自ら中間処理により 減量した 産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t
全処理委託量	2215.50 t	24.43 t	172 t	17 t	0 t
再生利用業者への 処理委託量	2215.50 t	24.43 t	172 t	17 t	0 t

計画 令和6年度 予定

	アスコンがら	汚泥	コンクリートがら	木屑	廃プラ
予定排出量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t
自ら中間処理により 減量する 産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t
全処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
再生利用業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t